

Keep Innovating.

その学びが 「むすびわざ」

テーマ③

さあ、どうする？
ミツバチが減って困るのは、
ホットケーキだけではないらしい。

ミツバチプロジェクト

今、ミツバチが減少しているをご存知でしょうか。日本の養蜂産業、実は2008年頃から原因不明のミツバチ不足に悩んでいます。これはもちろんハチミツの生産量にも影響しますが、もっと心配されているのが野菜や果物といった「農作物」。農作物が実をつけるには「受粉」が欠かせませんが、実は約7割もの農作物がこの受粉をミツバチに頼っているのです。また日本の養蜂産業が抱える問題はそれだけではありません。

「環境開発による蜜源植物の減少」「養蜂業者の後継者不足」など、多くの問題が山積みです。そこで立ち上がったのが京都産業大学。ミツバチの品種改良やハチミツの研究、養蜂産業の活性化、環境緑化など、あらゆる切り口から研究を進め、ミツバチ研究をリードしてきました。この研究は2015年の創立50周年に向けた「むすびわざDNAプロジェクト」にも採用。国や地方自治体、民間企業などと連携し、課題解決に尽力しています。

K50th 京都産業大学
2015年、50周年を迎えます

● 経済学部 ● 経営学部 ● 法学部 ● 外国語学部 ● 文化学部
● 理学部 ● コンピュータ理工学部 ● 総合生命科学部

【入学センター】 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 TEL 075-705-1437